

ふくおかの経済

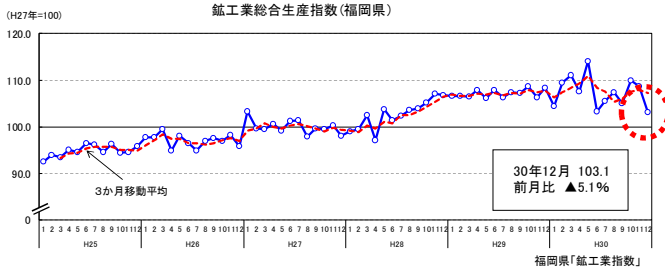
平成31年2月号



生産

高水準で推移

12月の生産指数は、輸送機械工業などが低下して、2か月連続で前月を下回ったものの、高水準で推移しています。

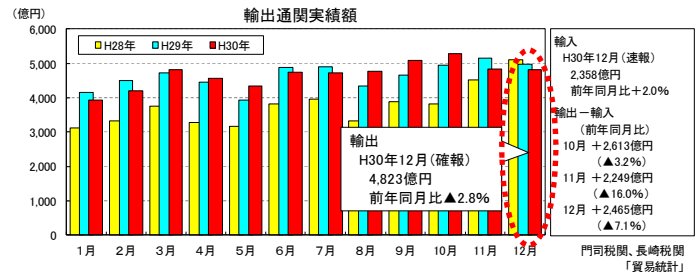


鉱工業生産指数は、平成27年の生産水準を100として、その変化を表しています。

貿易

輸出は高水準で推移、輸入は緩やかに増加

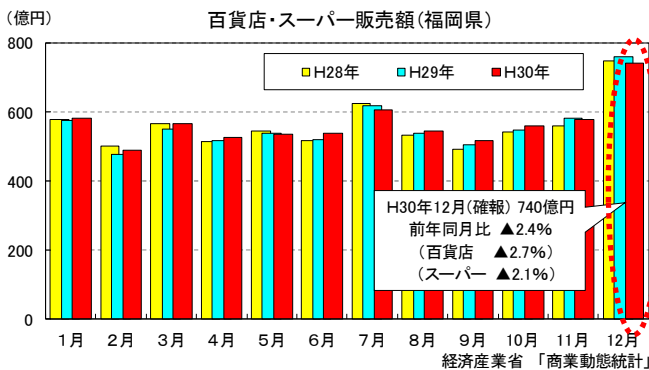
12月の輸出は、中国向け半導体等製造装置などの減少により2か月連続で前年を下回ったものの、高水準で推移しています。



消費

緩やかに増加している

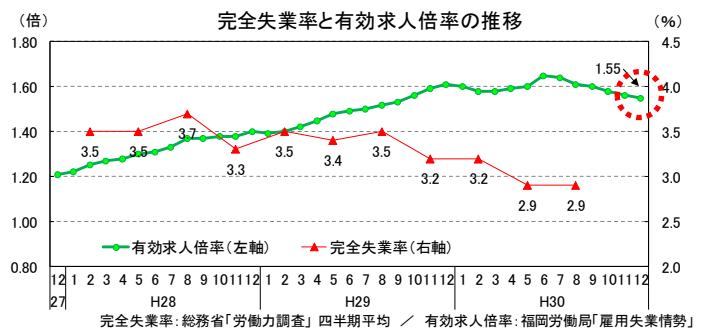
12月の百貨店・スーパー販売額は、暖冬で冬物衣料の動きが鈍かったことなどから、2か月連続で前年を下回りました。



雇用

着実に改善が進んでいる

12月の有効求人倍率は1.55倍と、6か月連続で前月を下回ったものの、高水準で推移しています。



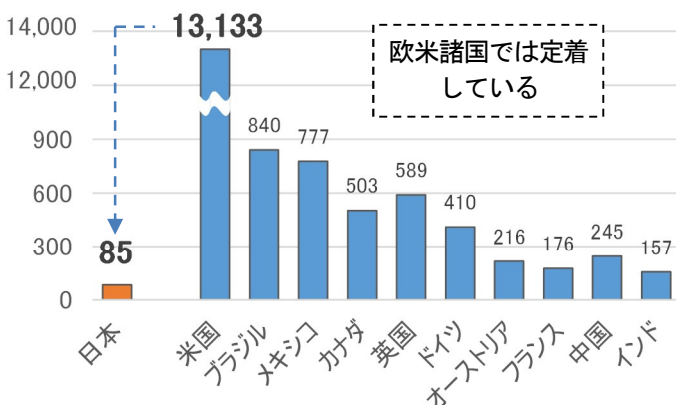
「仕事を探している人の数」に対する「企業の求人数」の割合が有効求人倍率です。

1.00倍より大きいと、人手不足を表します。

今月のトピック 発着回数が増加するビジネスジェット ～インバウンド需要の取り込みが課題～

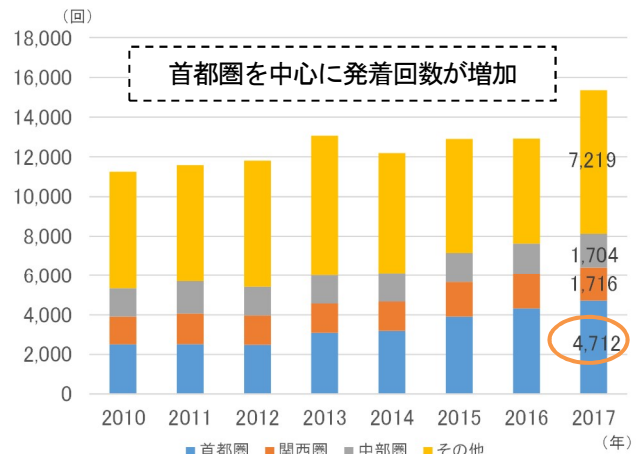
- 米国など国土が広い国では、ビジネスにおける有効な移動手段としてビジネスジェット(BJ)が定着しています(図1)。
- 日本でもここ数年、受入体制の整備や発着回数の制限緩和により首都圏を中心にBJ発着回数が増加しています(図2)。
- 今後は、ラグビーW杯や東京オリンピック・パラリンピックを契機に、海外要人や富裕層を中心としたBJ受入れ需要の増大が予想されることから、福岡県でのBJの受入環境整備を検討推進することが重要となりそうです。

図表1 BJの主要国別の保有機数(2015年3月末)



資料) 日本ビジネス航空協会「日本におけるビジネスジェットの現状と展望」

図2 日本におけるBJ発着回数の推移(国内・国際)



資料) 国土交通省「日本におけるビジネスジェットの発着回数」(トピック担当: 佐藤J)